

生きるとは時間を消費することでもある。
日々の時間をコントロールして、
人生をより良く生きるための練習。

ノーテレビ・ ノーゲーム チャレンジ

テレビやゲームを否定することではありません。全ての子どもたちが、メディアと主体的に向き合い、メディアとの付き合い方をコントロールできる力を育むことを目的に、2007年から毎年実施しています。



ノーテレビ・ノーゲームチャレンジで

人生の質が向上する

ノーテレビ・ノーゲーム チャレンジの目的

現代の情報化社会で生きていくためには、テレビやインターネットなどのメディアと上手に付き合うことが大切です。しかし、一日中、テレビやゲーム、インターネット、携帯電話などのメディアと接触して良いわけではありません。メディア漬けの生き方は、依存症と言えます。

ノーテレビ・ノーゲームチャレンジの目的は、メディアとの接触をコントロールすることです。「ノーテレビ・ノーゲーム」というと、テレビを全く見ないこととか、ゲームを全くやってはいけないことだと誤解する人が少なくありません。福津市の「ノーテレビ・ノーゲームチャレンジ」は、そういうものではありません。全ての子どもたちに、メディアと主体的に向き合い、メディアとの付き合い方をコントロールできる力を育むことを目指しています。

市の取り組み

福津市青少年育成市民の会では、NPO法人福岡・津屋崎子ども劇場と一緒に「ノーテレビ・ノーゲームチャレンジ2012」を実施しています。

市内の保育所・幼稚園・小学校の協力の下、各家庭にノーテレビ・ノーゲームチャレンジへの参加を呼びかけをしています。今年度は、1回目のチャレンジを7月と8月に行いました。具体的な内容を紹介します。家庭で話し合い、チャレンジする内容をチャレンジメニューから選択し、チャレンジカレンダーに記録します。チャレンジ期間が終わったら、チャレンジカレンダーを保育所・幼稚園・小学校に提出します。



チャレンジメニュー

- ① 毎日、子どもが朝起きてから寝るまでテレビ・ゲーム・その他のスイッチを切る。
- ② 平日は、子どもが朝起きてから寝るまでテレビ・ゲーム・その他のスイッチを切る。
- ③ 週に1日、曜日を決めて子どもが朝起きてから寝るまでテレビ・ゲーム・その他のスイッチを切る。
- ④ 食事のときはテレビ・ゲーム・その他のスイッチを切る。
- ⑤ 夕食以降はテレビ・ゲーム・その他のスイッチを切る。
- ⑥ テレビ・ゲーム・その他を合わせて1時間以内とする。
- ⑦ テレビ・ゲーム・その他を合わせて2時間以内とする。
- ⑧ 自分で考えたメニューで取り組む。

※その他とは、パソコンや携帯電話のことです。



ノーテレビ・ノーゲームをやると、いいことがある

チャレンジに参加した人のアンケートには、次のような感想が多く見られました。

- ・家庭の会話が增えた。
- ・食事の会話が豊かになり、食事の時間が楽しくなつた。
- ・遊びの時間や読書の時間が増えた。
- ・「やればできる」と思った。

本年度の2回目のチャレンジは11月に実施する予定です。多くのご家庭に参加いただければ幸いです。

【問い合わせ】

福津市青少年育成市民の会
(市郷育推進課:津屋崎庁舎内)

☎52・5311